

(報告様式 例)

## 仙台圏域の観光の現状・課題・方向性及び取組について【視点 1】

### ①圏域の観光の現状

#### 視点 1 (1)

- 新型コロナウイルス感染症の影響で観光客・宿泊客が激減し、宿泊業・飲食業など、幅広い業種で売上げが減少している。また、イベント等の中止が相次いでいる。
- 6月頃から人出が戻りつつあるが、平年並みまでは回復していない。また、7月以降についても、宿泊の予約等は平年より少ない状況になっている。

#### 視点 1 (2)

- 令和 3 年に東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催される。

### ②圏域の観光の課題

#### 視点 1 (1)

- 経済回復に向けた交流のためイベント開催は必要だが、実施に向けた判断が難しい。
- 安心・安全の担保と PR が重要。また、感染対策として、どこまで何をすべきかが問題である。
- お互いに安全が担保されないと、お客様も来ないし、受け入れ側も対応しにくい。
- 検温や噴霧型の消毒装置などの設備投資に対する補助が必要である。

#### 視点 1 (2)

- インバウンド対応についても検討する必要がある。

### ③回復戦略や成長戦略などの方向性・具体的な取組等

#### 視点 1 (1)

- 感染対策の基準や、イベント開催の判断指標を示す。
- 新しい生活様式に対応するための、安心・安全確保の講習会や情報発信を実施する。
- 県民に安心感を与えるため、感染防止対策をきちんと実施しているという情報を発信する。
- 感染対策を実施している事業者が貼りだせるようなステッカー・標示等を迅速に配布する。
- 感染防止対策の徹底に向けた設備投資への補助など、受入態勢を整備する。

#### 視点 1 (2)

### ④委員からの主な意見

(今回の会議でいただいた意見を記載します)